

事務事業名 はたちのつどい事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：662

施 策：	19	青少年の健全育成	財務コード	01090603-14-552
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	教育部
基本事業の 成果指標			担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～	新規・継続	継続	会計区分		実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
20歳になる新成人（4月2日から翌年の4月1日生まれが対象）		新成人（20歳対象）を主とした実行委員会により、企画、運営を行う。市広報、ホームページ等により公募したはたちのつどい実行委員会への指導・助言その他諸事務を行う。はたちのつどい当日の運営スタッフとして、中学生にボランティアとして協力要請を行っている。							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
成人としての自覚を促すことにより、新成人が主体的に社会参加できるようにする。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
参加者数		人	720	874	770	770			800
成人を迎えた人のうち成人式に出席した人の割合		%	62	78	75	75			75
5. コスト									
事業費		計	千円	1,325	1,271	1,491	1,655		
		国	千円		0	0	0		
		県	千円		0	0	0		
		地方債	千円		0	0	0		
		その他 一般	千円		0	0	0		
正職員人工数		人工	0.3	0.3	0.3				
正職員人件費		千円	2,318	2,345	2,407				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,643	3,616	3,898	1,655			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
☐ あがっている ☒ どちらかといえばあがっている ☐ あがっていない（停滞・低下）		新型コロナウイルス感染症の5類移行等により、参加者数及び成人を迎えた人のうち成人式に出席した人の割合は、ともに増加した。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	基礎的事務事業	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持				事業終了の場合は記入する必要なし）					
対象者から、はたちのつどい実行委員を募り、テーマ・記念品の決定、式の進行など、企画運営をさせることで、新成人（20歳）にとって魅力ある式典を開催していく。				はたちのつどいの運営サポートには、中学生ボランティアを活用して、将来のはたちのつどいの対象年齢となった際に、実行委員として運営に携わってもらえるようアピールを行っている。					
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄					
新成人に「成人としての自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を励ます」ことを目的に、式典を実施する事業として開始。成人の日が変更されたことに伴い、三連休の真ん中の日（中日）に成人式をしてほしいという市民の要望もでてきていた。				平成26年成人式より、成人の日（ハッピーマンデー）の前日の日曜日（三連休の真ん中の日）に、日程変更して実施することとなった。成人年齢引き下げ（2022年4月）に伴い名称を「はたちのつどい」に変更。					